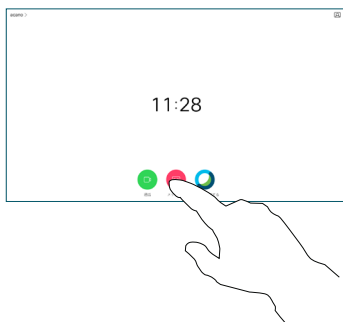
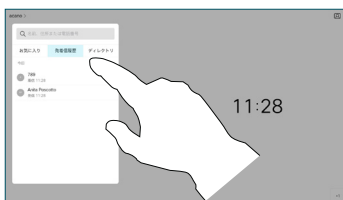


連絡先リストから発信する

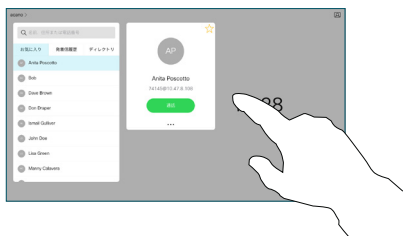
- 1 緑色の**通話**ボタンをタップします。



- 2 特定のリスト([お気に入り],[ディレクトリ],[発信履歴])で通話相手を検索するには、そのリストをタップし、下へスクロールして相手のエントリを探します。

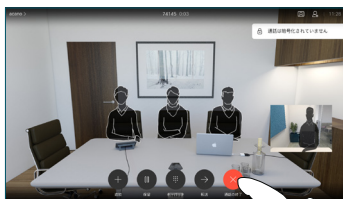


- 3 そのエントリをタップすると、緑色の**通話**ボタンが表示されます。図のように、緑色の**通話**ボタンをタップします。



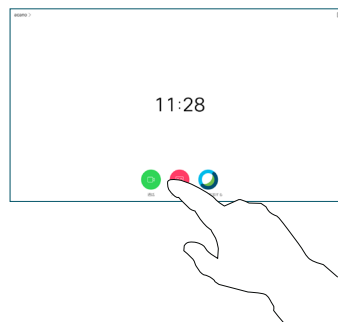
- 4 通話が発信されます。

通話を終了するには、赤色の**通話の終了**アイコンをタップします。

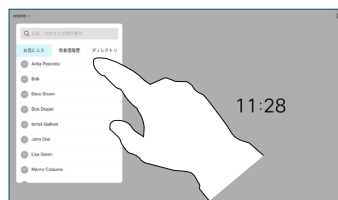


名前、番号、または住所を使用して発信する

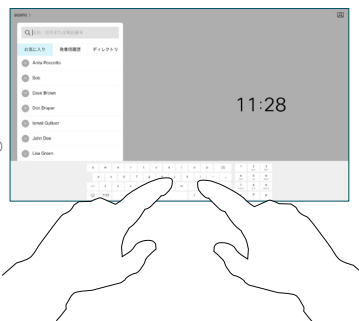
- 1 緑色の**通話**ボタンをタップします。



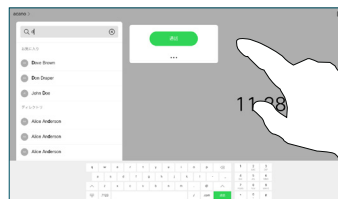
- 2 [検索またはダイヤル]フィールドをタップします。キーボードが呼び出されます。



- 3 名前、番号、または住所を入力します。ユーザの入力に合わせて、一致予測、予測候補が表示されます。一覧で求める連絡先が表示される場合はそれをタップします。それ以外の場合は入力を続けます。

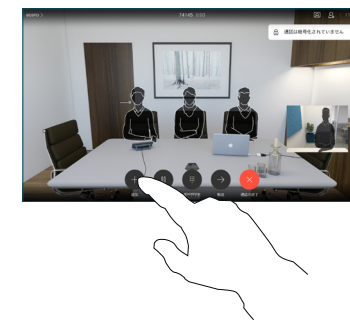


- 4 通話先を入力し終わるか見つけたら、緑色の**発信(Call)**ボタンをタップして発信します。

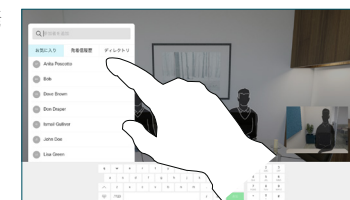


ビデオ会議を開始する

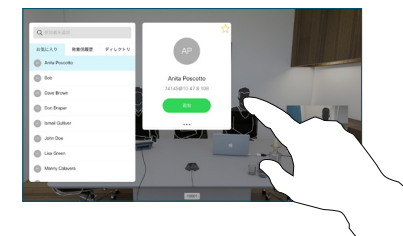
- 1 通話中に**追加**をタップします。



- 2 通常の方法で、発信先を探します。

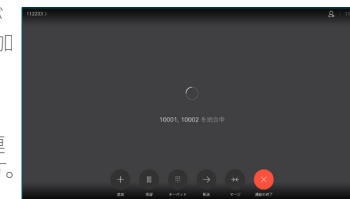


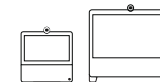
- 3 通常の方法で発信します。



- 4 この新しい通話が既存の通話に追加され、会議が作成されます。

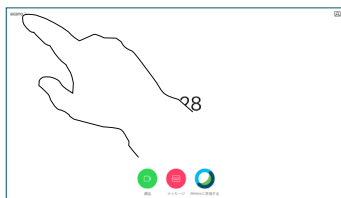
繰り返して他の連絡先を追加します。



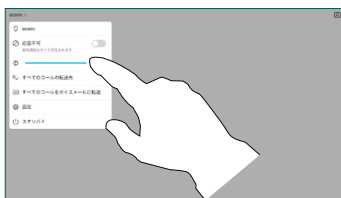


通話の転送、近接通信、および着信拒否

- 1 左上隅のアイコンをタップします。



- 2 必要に応じて、機能をアクティブ化/非アクティブ化します。完了したらメニュー以外の場所をタップします。



PC モニターの使用

HDMI ケーブルを使用してコンピュータを HDMI ソケット PC(PC の記号が付いたソケット) に接続します。

PC モニタとビデオ画面を切り替えるには、画面をタップします。

[応答不可(Do not disturb)] がアクティブである場合を除き、モード(PC またはビデオ)に関係なく、着信が通常どりに表示されます。

ヘッドフォンの使用

DX70 では標準のミニジャック プラグが付いたヘッドフォンを使用できますが、DX80 では USB 有線音声デバイス用の標準プロトコルを実装しています。

両方のモデルで、ヘッドフォン コネクタはユニットの右側にあります。両方のモデルでドングルの有無にかかわらず Bluetooth デバイスを使用できます。詳細については、ユーザ ガイドを参照してください。

近接通信を使用したコンテンツ共有

PC で近接通信を [オン(On)] に設定して他のユーザとコンテンツを共有します。

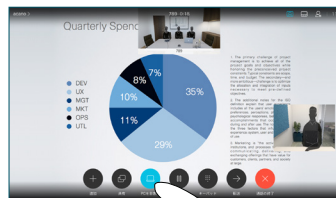
通話中のコンテンツ共有

- 1 通話中に、[PC の表示 (Show PC)] をタップして、自分の PC の画面をローカルに表示します。



これを行ったときに画面に表示される内容は、他の参加者には表示されません。

- 2 [PC を非表示にする (Hide PC)] をタップして前の状態に戻ります。コンテンツを共有する場合は、図のように [共有 (Share)] をタップします。



- 3 これで、PC 画面のコンテンツが他の参加者と共有されます。

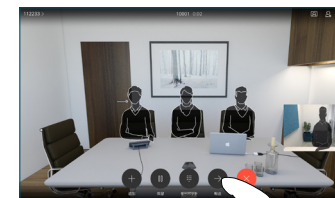


- 4 コンテンツの共有を停止するには、図のように [共有を停止 (Stop Sharing)] をタップします。

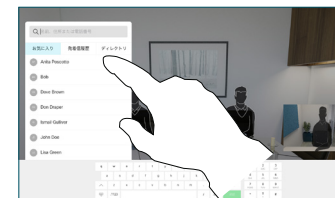


継続中のコールを転送する

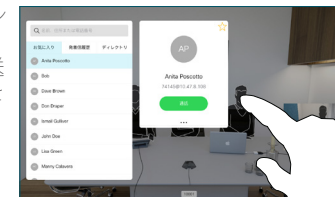
- 1 転送 ボタンをタップします。これにより、現在の通話が保留になります。



- 2 通常の方法で、発信先を探します。



- 3 緑色の通話ボタンをタップします。相手と話して転送が行われたことを確認します。転送先では保留中のままになります。



- 4 転送を完了をタップします。

